

片頭痛の薬物療法には、①急性期治療（片頭痛発作が起きた時）と②予防療法（起きる前）があります。急性期治療で最も効果的な薬がトリプタン製剤で、多くの患者さんに有効です。薬は、頭痛の早期に服用することと飲み過ぎないこと（10日以内）が大切です。予防療法は、発作の発生を抑え、発作の回数や強さを減らし、薬の

飲み過ぎを抑え、積極的に頭痛をコントロールする新しい治療法です。その結果、薬が効くようになり、症状の重い患者さんは、①月に2回以上頭痛発作がある、②トリプタンが効かない重症例、③10日以上薬を飲む場合、などに最も適した治療法です。ただ予防薬は効果を感じるまで時間



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック

柿生 百合丘小・南口
スーパーサンワ・ゆりストア
第2児童公園北側
第1団地前

☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

がかかり、3か月の服用が必要で、治療期間は3〜6か月、発作が月1〜2回以下に減ると徐々に減量し中止します。予防薬は高価なトリプタンに比べて安く薬剤費を抑えられます。